



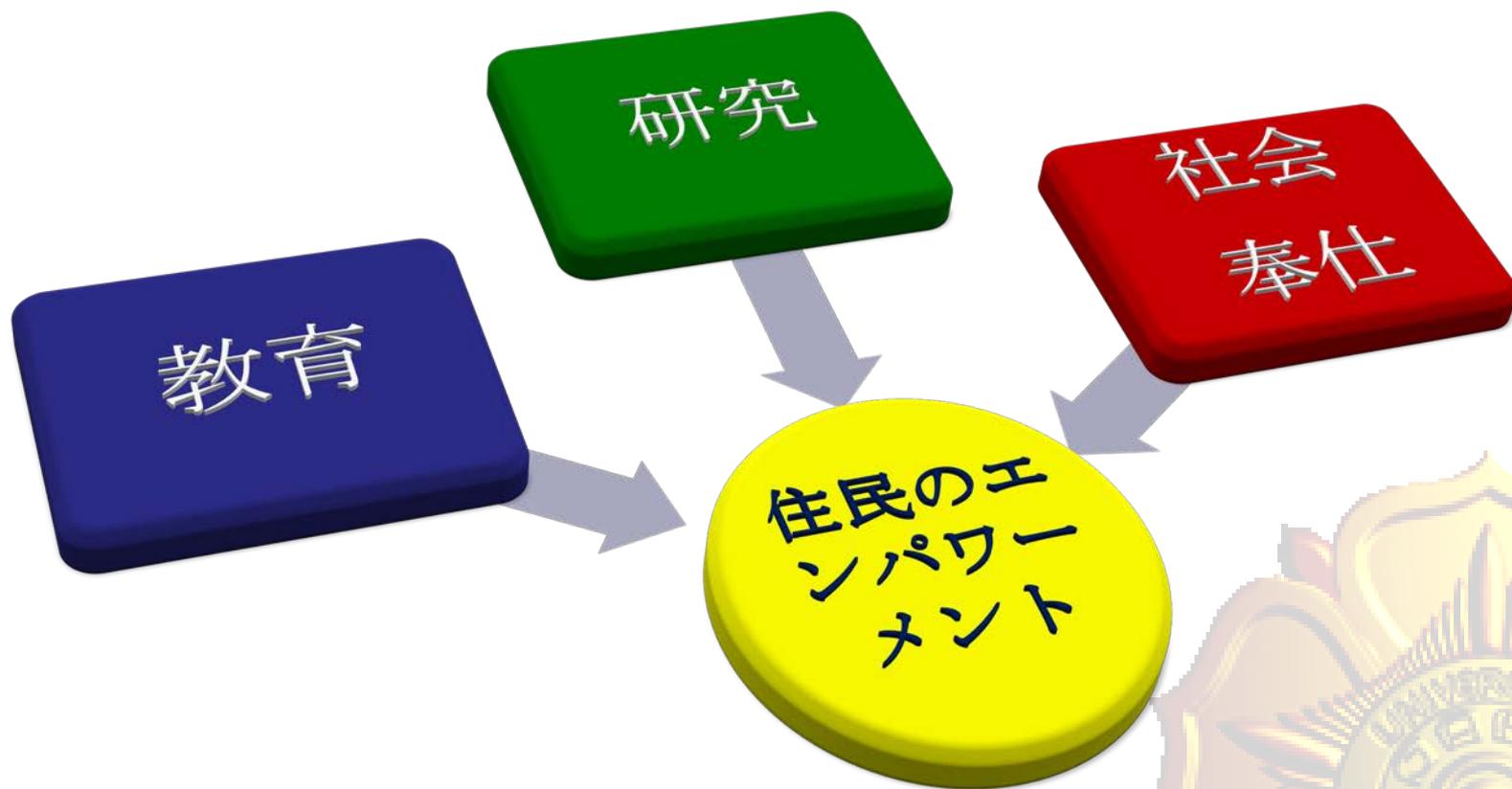
ガジャマダ大学のKKN (学生農村実習)

ワフユ・スパルトノ
インドネシア・ジョグジャカルタ
ガジャマダ大学農工学部

SUIJIセミナー
2013年8月28-30日、高知大学



高等教育機関の3つの柱



はじめに



- 1949年12月、ガジヤマダ大学(UGM)がスカルノにより設立される → 庶民を支援する様々なプログラムを実施し、独立闘争の大学、庶民の大学とよばれる。
- 1951年、KKNを開始 → ジャワ島外の高校に教員として学生を派遣 → 学生派遣プログラム
- 1962年、資金難によりプログラムが中止となる。



はじめに

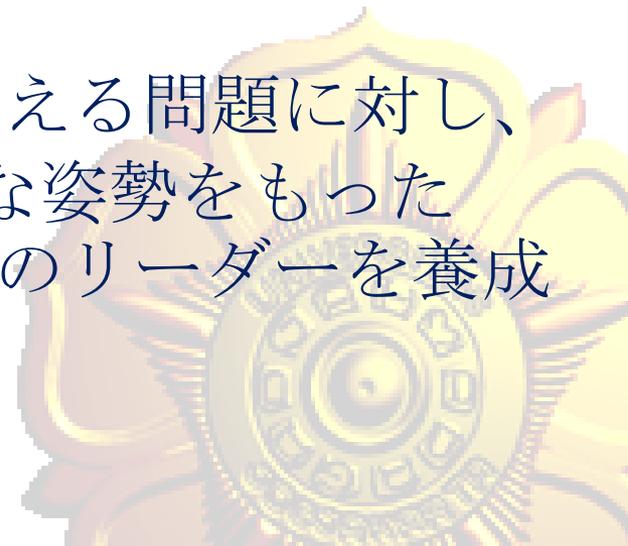
- 1971年、故クスナディ・ハルジョスマントリ教授がKKNを再開。
現在に至るまで、UGM全学生の必修プログラムとなる。
- 1994年、総選挙監視KKNが実施される。
- 1998年、テーマ別KKNを開始 → 住民のニーズにより、個別テーマを設定して実施。



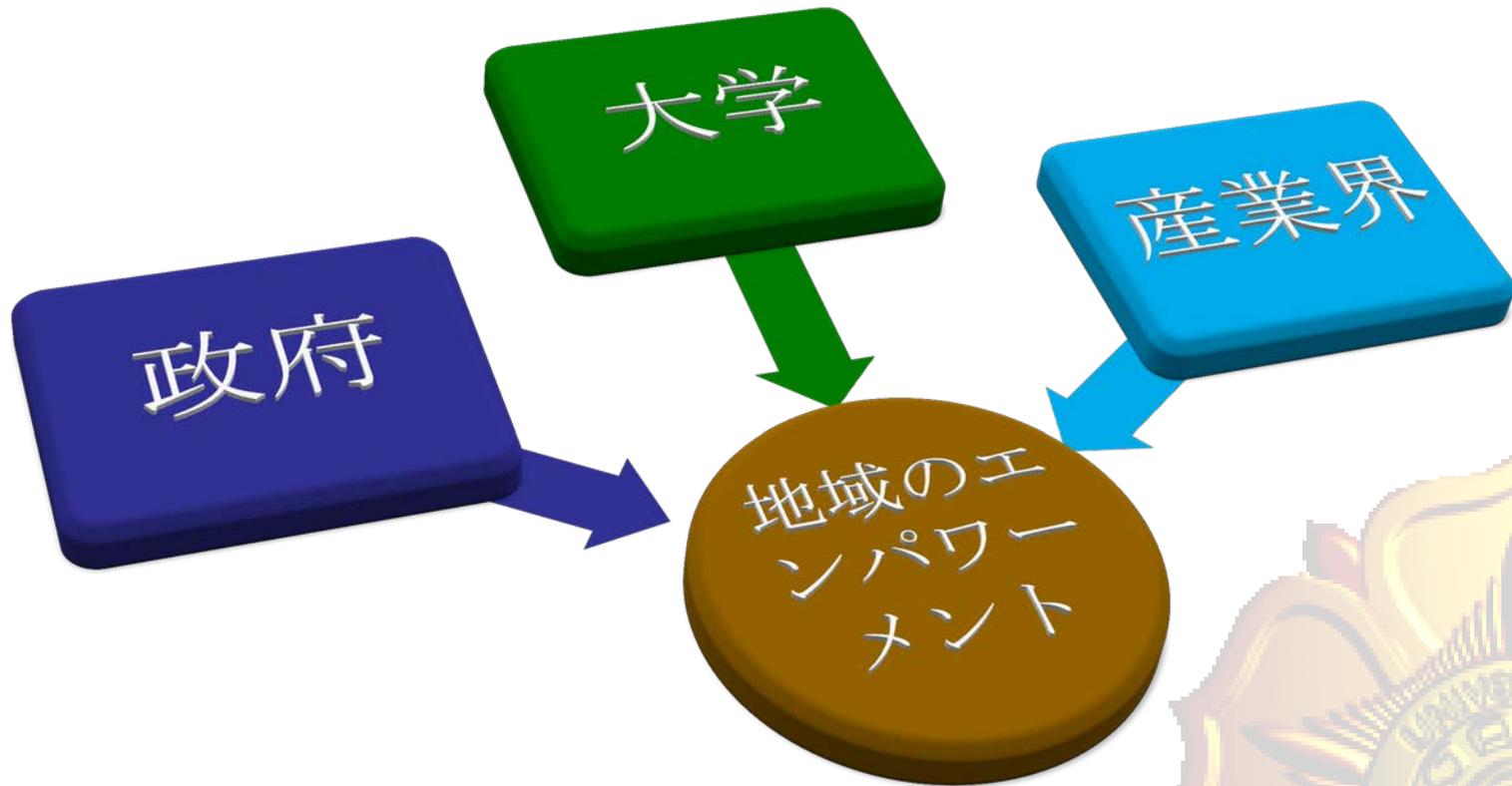
はじめに



- 2006年、KKNプログラムはすべて、住民エンパワーメントを学ぶKKN(KKN-PPM)となる
- KKNにおけるパラダイム転換:
「開発」から「エンパワーメント」へ.
- 目的 → 住民が抱える問題に対し、心を寄せ、真摯な姿勢をもったUGM卒業生、真のリーダーを養成する。.



産官学の連携



KKN-PPMの原則

- 高等教育機関の3つの柱との統合
- 人々との共感・参加型
- 学際的
- 包括的、補完的、広領域
- 現実的、実践的
- 環境保全型開発



KKN-PPMの実施



- *Co-creation* (共に創る)
- *Co-financing/co-funding* (資金面での協働)
- *Flexibility* (柔軟)
- *Sustainability* (持続可能)
- *Research based community* (研究を基盤とした活動)



KKN-PPMの目的



- 住民に対する関心・共感を高める
- 学際的なチームワークにより、学問・科学の社会への適用をはかる
- 人格形成をはかる: 愛国心、忍耐力、勤勉、責任感、自立、リーダーシップ、企業家精神
- 国の競争力を高める
- 研究者精神を育成する:
探究心、分析力、コミュニティに学ぶ



活動と期間



- KKN-PPMは以下の2つから構成
 - a. 基本活動
 - b. 補助活動
- 288時間→ 70% は基本活動、30% は補助活動にあてる



KKN-PPMの展開



- 住民のエンパワーメントのため、政府・産業界・資金提供者・大学間の連携を高める
- 国際プログラムとしてのKKN-PPM
- インドネシアにおける被災者支援活動としてのKKN-PPM
- 開発が遅れた地域、孤立地域の地域開発を補助する



地域づくりにおける学生の役割

- 社会の変化を促す
- 多彩な能力を発揮する。
- 弱点はあったとしても、社会に新たな視点を提供し、エンジンとなり、社会の問題解決をはかる。



Terima kasih atas perhatian anda
Arigato gozaimasita



www.airguaplwan.net



31.07.2006 09:48

Thank you for your attention
ご清聴、ありがとうございました

